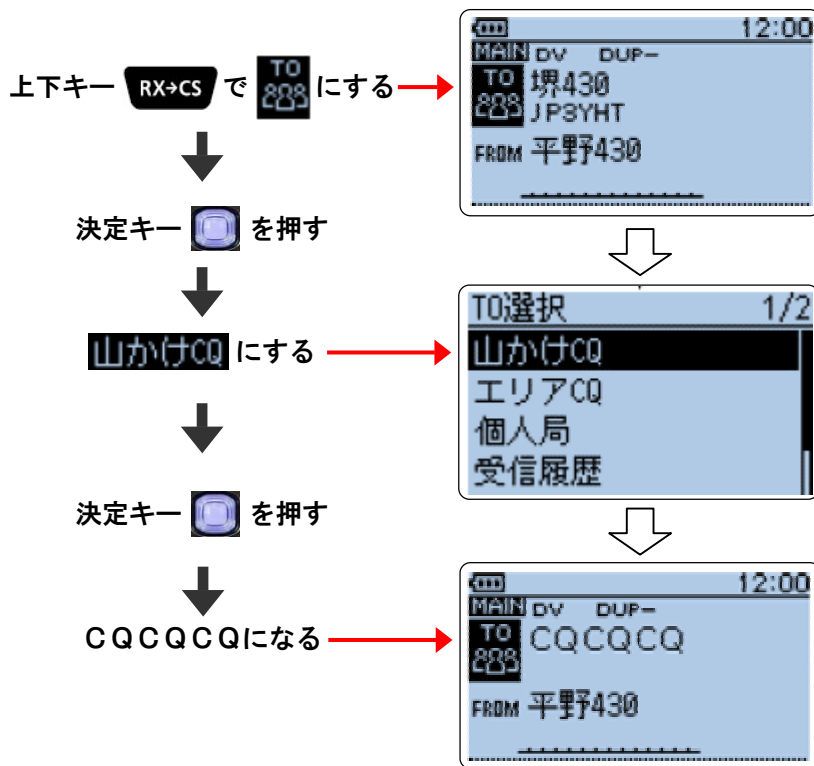


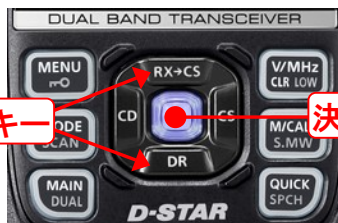
相手先をCQCQCQに設定する方法

【ID-31, ID-51】

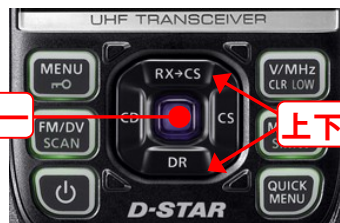


RX→CS で相手局を設定した場合(コールサイン指定)は上下キーのどちらかを押すと、設定前の状態に戻る。

ID-51



ID-31



【ID-91, ID-92】

ID-91, ID-92は、CQボタン **0 CQ** を長押しすると「ピッ、ピ、ピピ」と鳴り、URがCQCQCQに設定される。

但し、R2はゲート越え設定のままになっているため送信するとレピータからエラーの「RPT?」が返ってくる。RPT?が返って来ても、問題なくQSOは可能。

【回避策】

メモリーにセットしておいて、QSO終了後にセットしたメモリーを呼び出すという使用方法にする。

UR: /JP1YKR
R1: JP1YLA
R2: JP1YLA G



UR: CQCQCQ
R1: JP1YLA
R2: JP1YLA G

メモリーの状態 **CALL C RX→CS** で相手局を設定した場合(コールサイン指定)はダイヤルを回して他のメモリーchにすると、設定前(メモリーの内容)の状態に戻る。



相手先をCQCQCQに設定する方法

【ID-80, ID-880】

ID-80

U (UR) の表示の状態から

 を短く押す ⇒ 押す毎に表示が①, ②, ③と変わる

- ①  ⇒ 「CQCQCQ」
(CQCQCQが表示されない場合は  を押す)
- ②  ⇒ 登録したコールサインの選択
(相手局コールサインを設定してない場合は表示されない)
- ③  ⇒ レピータの選択

U の表示で押す



U (UR) の表示



CQCQCQになる



で相手局を設定した場合(コールサイン指定)は、URかDRを押すと設定前の状態に戻る。

ID-880

U (UR) の表示の状態から

 を短く押す ⇒ 押す毎に表示が①, ②, ③と変わる

- ①  ⇒ 「CQCQCQ」
(CQCQCQが表示されない場合は  を押す)
- ②  ⇒ 登録したコールサインの選択
(相手局コールサインを設定してない場合は表示されない)
- ③  ⇒ レピータの選択

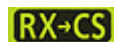
U の表示で押す



U (UR) の表示



CQCQCQになる



や受信履歴で相手局を設定した場合(コールサイン指定)は、DRを押すと設定前の状態に戻る。